

仕様書

1 総則

この仕様書は、R 7 警営 旧農業研究所鴨島分場 吉・鴨島 地質調査業務に適用する。
また、本業務は、「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に基づき実施する。

2 業務場所

業務場所は、調査位置図(別添)に示すとおりである。

3 目的

本業務は、現行の阿波吉野川警察署の移転に伴う新庁舎建設に係る実施設計等のため、建設予定地の土質性状及び地質構成を把握し、設計・施工上に必要な資料を得ることを目的とする。

4 業務内容

(1) 調査件名 R 7 警営 旧農業研究所鴨島分場 吉・鴨島 地質調査業務

(2) 調査場所 吉野川市鴨島町鴨島

(3) 調査期間 契約日の翌日から令和7年8月29日

(4) 調査内容

調査内容として、土質ボーリングを実施する。

土質ボーリングはロータリーボーリング機械により行うものとし、調査位置については、協議によるものとする。

なお、調査位置、掘進方法等についての詳細は、業務計画書を作成し、監督員の承諾を得るものとする。

【調査内容】

- | | |
|-----------|---------------------------------|
| ① 土質ボーリング | 1箇所 (L=20.0m) ※孔径: ϕ 66mm |
| ② 標準貫入試験 | 総回数20回(1回/m毎) JIS A 1219の規定にて実施 |
| ③ 孔内水位測定 | 無水堀よりボーリング孔内水位を測定 |
| ④ 室内土質試験 | 標準貫入試験の採取試料にて実施 |

5 成果品

成果品は以下とおりとす。

(1) 成果報告書

報告書は紙媒体(A4版)及び電子媒体(CD-R)とし、以下の項目について整理・とりまとめたものとする。

- ① 調査の概要と調査項目一覧表
- ② 調査位置見取り図
- ③ 敷地内ボーリング位置図 (BM、標高、調査深度等を記入)
- ④ ボーリング柱状図の作成
- ⑤ 推定地質断面図の作成 (既往調査結果との整合)
- ⑥ 地形地質の概要と各調査結果の評価及び考察
 - ・地形・地質、地下水の状況
 - ・各種試験結果について
 - ・設計に必要な土質定数等について
 - ・建築物の支持層と基礎形式の選定について
 - ・地盤の流動特性(液状化の判定)について
 - ・土質工学的問題(圧密沈下や基礎施工時の留意点等)について
- ⑦ 現場状況写真 (カラー、各調査位置・現地作業、BM)

(2) 提出物

- ① 成果報告書 製本版 1部
- ② 成果報告書 電子媒体版 2部 (推定土質断面図等電子データ)

③ 土質標本箱 一式

6 打合せ協議

当該業務における打合せは、3回を予定し、管理技術者が出席するものとする。
また、打合せ時期は以下のとおりとする。

- 第1回 業務着手時
- 第2回 中間時
- 第3回 成果品提出時

【打合せ簿】

打合せた事項や調査作業上の指示については、打合せ記録簿を作成し、相互で確認する。

7 安全管理

- (1) 請負者は担当技術者を現場に常駐させて業務円滑化を図るとともに緊急時の連絡体制を明確にしておく。
- (2) 調査地点周辺に地下埋設物(電話・送電線・ガス管・水道管等)が予測される場合は、監督員に報告し関係機関と協議のうえ、現地立会を行い、位置、規模、構造等を確認する。
- (3) 現場調査期間中には、第三者の進入を防ぐため仮囲いを必要に応じ設置し安全対策を講じる。
- (4) 掘進孔は作業完了後、現地発生残土等を用いて直ちに閉孔する。

8 その他

- (1) 請負者は作業を円滑にするために必要事項について進捗状況を随時報告するとともに必要な段階毎に監督員と十分打合せを行い作業手戻りの防止に努める。
- (2) 調査中に生じた事故及び損害並びに調査に必要な一切の設備については、請負者が負担するものとする。
- (3) 計画調査数量は予定数量であり、変更が生じた場合には設計変更を行い清算するものとし、誤差を把握した時点で監督員に報告、打合せ協議を行うものとする。
- (4) その他の事項についても監督員の指示に従う。